

<b>英会話初級</b> Basic English Conversation	<b>(選択2単位) 2年前期</b> オクムラ フェラオドス サントス ディオゴ ラファエル*	MEIP- GEN104	
<b>授業テーマ・内容</b> この授業では実用的な日常英会話を練習します。穴埋め文章問題はリスニング、カルチュラルヒントは海外の文化の違いを理解する、またペアワークはスピーキング能力の向上と流暢さを伸ばすための練習です。 カルチュラルヒントのページについては、課題を与えられることがあるので、インターネットなどを利用して異文化の習慣等について調べておくこと。 予習は毎回の授業までに数ページ分の単語、発音、文章の意味などを調べる。授業中は出来るだけ大きな声で発話すること。また、会話力の上達は反復練習によって習得されるため、授業外での復習が非常に大事です。テキストに出てくるフレーズは基本的な会話の文章なので覚えるくらいまで声を出して練習するように。			
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> このコースのゴールは一般的な英語の読む、聞く、書く、話す、の全てにおいて学生の理解力と自信を向上させることと同様に、実用的な英会話技能を向上させることです。日常のシーン別に自然で状況にふさわしい会話が出来るようになるのがねらいです。 この授業は毎回の出席および授業態度が評価の大きなポイントになります。			
<b>成績評価の方法・評価基準</b> 期末試験 40% 中間試験 10% 小テスト 10% レポート 10% 演習課題 10% 平常点 60%		<b>テキスト</b> Speak Easy in Daily Conversation J. Metheny Sun Mihall Language Service  <b>参考書</b>	
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b>			
<b>履修条件</b> 授業運用の関係で履修者数は1クラスにつき30名までとする。 ☆		<b>備考</b>	
<b>授業計画</b>			
週	単元	内容	予習/復習
第1週	“Introductions”	Unit 1, pp. 1-2 Introductions	予) Introductions (2H) 復) Introductions (2H)
第2週	“Introductions” (cont...)	Unit 1, pp. 3-5 Getting to Know You	予) Getting to Know You / Fill in the Blanks (3H) 復) Introductions (3H)
第3週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 1, p. 6 My Story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My Story (2H)
第4週	Various Exercises	Unit 1, pp. 7-8 / Unit 3, p. 1 Role Play	予) Own Role Play / Match the Sentences (2H) 復) Own Role Play (2H)
第5週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 2 Getting to Know You	予) Fill in the blanks / Getting to Know You (2H) 復) Getting to Know You (2H)
第6週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 3 Adverbs of frequency	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Adverbs of frequency (2H)
第7週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 3, pp. 4-5 My story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My story (2H)
第8週	Various Exercises	Unit 3, pp. 5-7 Hobbies	予) Match the Sentences / Hobbies (2H) 復) Hobbies (2H)
第9週	“The Good Listener”	Unit 4, pp. 1-3 Do, Does and Wh- questions	予) Do, Does and Wh- questions (2H) 復) Do, Does and Wh- questions (2H)
第10週	“Making A Phone Call”	Unit 5, pp. 1-3 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone conversations (2H)
第11週	“Making A Phone Call” (cont...)	Unit 5, pp. 4-5 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone Conversations (2H)
第12週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 5, pp. 5-6 My Story	予) Getting to Know You (2H) 復) My Story (2H)
第13週	Various Exercises	Unit 5, pp. 8-10 Information Exchange	予) Information Exchange (2H) 復) Information Exchange (2H)
第14週	Time Expressions	Unit 6, pp. 1-2 Time Expressions	予) Time Expressions (3H) 復) Time Expressions (3H)
第15週	Review	Unit 1-6	予) Unit 1-6 (3H) 復) Unit 1-6 (3H)
第16週	Final Exam		

生涯スポーツ I Sports Activities and Health Science I		(選択1単位) 2年前期 村上弘一、羽田信子*	MEIP- GEN106
<b>授業テーマ・内容</b> 生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。			
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れる必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。			
<b>成績評価の方法・評価基準</b> 期末試験 ー% 中間試験 ー% 小テスト ー% 演習課題 ー% レポート 40% 平常点 60%		<b>テキスト</b>  <b>参考書</b>	
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b>			
<b>履修条件</b>		<b>備考</b>	
授業計画			
週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおくこと。(0.5時間) 復)授業概要を確認しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復)ストレッチングの方法等を復習しておく。(0.5時間)
第3週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・テニス・ソフトボール等	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	グループ対抗戦		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・バレーボール・サッカー・バスケットボール等	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第12週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・卓球・テニス・ソフトボール等	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)

生涯スポーツⅡ Sports Activities and Health Science Ⅱ		(選択1単位) 2年後期 村上弘一、羽田信子*	MEIP- GEN206
<b>授業テーマ・内容</b> 生涯スポーツの生活化について、理論と実技を一体化させた演習形態で学ぶ。健康生活を営むために生涯を通して親しめる各種スポーツやレクリエーションスポーツなどの運動を体験学習する。生涯にわたるスポーツライフや心身の健康づくりにおいては、個人の年齢、体力、嗜好に応じたスポーツを選ぶ必要がある。そのための知識や技術を習得し、適切なスポーツ学習を通して幅広く経験し、社会生活におけるリーダーとしての資質と、心身ともに健康的な生活態度も合わせて学習する。			
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> スポーツの実践を通して体力とスキルの向上を図り、生活の中に運動を取り入れる必要性を理解し、実践する基礎的能力を養うことを目標とする。			
<b>成績評価の方法・評価基準</b> 期末試験 ー% 中間試験 ー% 小テスト ー% 演習課題 ー% レポート 40% 平常点 60%		<b>テキスト</b>  <b>参考書</b>	
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b>			
<b>履修条件</b>		<b>備考</b>	
授業計画			
週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業の概要説明	予)シラバスをよく読んでおくこと。(0.5時間) 復)授業概要を確認しておくこと。(0.5時間)
第2週	導入	ストレッチング、柔軟体操、筋力トレーニング	予)柔軟体操を行っておく。(0.5時間) 復)ストレッチングの方法等を復習しておく。(0.5時間)
第3週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・テニス・ソフトボール等	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第4週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第5週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第6週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第7週	グループ対抗戦		予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第8週	各グループにおける種目選択	バドミントン・卓球・バレーボール・サッカー・バスケットボール等	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第9週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第10週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第11週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第12週	各グループにおける種目選択	バレーボール・バスケットボール・卓球・テニス・ソフトボール等	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第13週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第14週	〃	〃	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)
第15週	〃	〃 (レポート提出)	予)ルールを調べること。(0.5時間) 復)ルール等よく理解しておくこと。(0.5時間)

<b>日本語のはじまり</b> <b>Japanese,Culture and Anthropology of the World</b>		<b>(選択2単位) 2年後期</b> <b>齋藤安輝</b>	<b>MEIP-GEN107</b>
<b>授業テーマ・内容</b> 人類の発生と進化、言葉の獲得といった、人類学の初歩および、文学の発生や、漢字の伝来とその定着に始まる主に仮名成立以前の漢文による文学、「古事記」・「風土記」・「萬葉集」など平安以前の古代日本の文学と歴史の展開を、実際に毎回作品を通して具体的に学ぶ。			
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> 個々の事項を知るといより、講義により得た知識から、「歴史とは何か」「文学とは何か」「人間とはどういう存在か」などということを自発的に考えて答えを求め、「演繹的思考法」を身につけることが本講義の目指すところである。			
<b>成績評価の方法・評価基準</b> 平常試験(完全論述式) 80% 中間試験 10% 小テスト 10% レポート 10% 演習課題 10% 平常点 20%		<b>テキスト</b> 随時プリント配布  <b>参考書</b> 新日本文学史 秋山虔編 文英堂	
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b> 毎回冒頭に課題を提示し、簡単なレポートを記述して提出。それらをもとに、質問、討論を行う。			
<b>履修条件</b> 平安遷都以前の初歩的な日本史の知識を要す。		<b>備考</b>	
<b>授業計画</b>			
週	単元	内容	予習/復習
第1週	文化と人類	人類にとって文化とは何か	予)文化の定義とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第2週	人類の誕生と進化①	猿人の誕生	予)霊長類とヒトの違いは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第3週	人類の誕生と進化②	直立二足歩行	予)直立二足歩行はヒトに何をもたらしたか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第4週	人類の誕生と進化③	親指の対向性	予)自分の手はどのような構造になっているか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第5週	人類の誕生と進化④	道具の使用	予)道具とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第6週	モンゴロイドの大移動	原人の脱アフリカ	予)人種とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第7週	日本人のルーツ①	縄文人	予)縄文時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第8週	日本人のルーツ②	弥生人	予)弥生時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第9週	移動と定住	狩猟採集生活と稲作定住生活	予)生活のスタイルはどう違うか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第10週	戦争と土地占有	戦争の起源と弥生時代	予)ヒトはなぜ戦争をするのか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第11週	国占めと国見 -大王の土地占有-	『風土記』に見る土地占有説話	予)土地を占有するためには何をすればよいか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第12週	無文字と口承 -カタリ文学-	口承文学と漢字の伝来	予)文字を使わずに言葉を伝達する方法は?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第13週	国生み神話 -日本のはじまり-	『古事記』の国生み神話	予)どのような日本神話を知っているか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第14週	古代の死生観① 黄泉国	日本人は「死」をどのように考えているか	予)「死」と「生」の違いは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第15週	平常試験		予)試験範囲の復習(3時間) 復)答案の検討(1時間)

<b>社会と経済のしくみ</b> Introduction to Sociology and Economics		(選択2単位) 2年前期 丹波勇氣*	MEIP- GEN108
<b>授業テーマ・内容</b> 我が国の社会は、市場(メカニズム)を介した経済、すなわち市場経済を前提として成立している。それ故に時として、経済変動が社会に影響を及ぼすこともあれば、その逆も有り得る。本講義の目的は、経済学的考察を用いて社会と経済の仕組みや両者の相互作用を学習することである。具体的な手段として、第一にマクロ経済学の基礎理論等を用いて、市場経済のメカニズムや政府が行う経済政策の意義を財サービス・金融・海外の3つの視点に分けて説明する。第二にそれらの結果として発生する経済変動が社会に与える影響を実際の事例(統計データやニュース記事)を用いながら考察していきたい。			
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> ①社会・経済のニュースやそれに関わる政策を正しく理解できる。②様々な媒体で得た情報を鵜呑みにせず、自ら考察(分析)する力を身に付ける。			
<b>成績評価の方法・評価基準</b> 期末試験 ー% 中間試験 ー% 小テスト 60% レポート 40% 演習課題 ー% 平常点 ー%		<b>テキスト</b> 教科書は使用しないが、毎回スライドの内容をまとめたプリントを配布する。 <b>参考書</b> ①伊藤元重(2012)『マクロ経済学』日本評論社。 ②吉川洋(2009)『マクロ経済学』岩波書店。 ③足立英之他訳(2014)『マンキュー入門経済学』東洋経済新報社。	
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b> 提出されたレポートで得た履修者の意見や疑問を授業内容に反映させたい。			
<b>履修条件</b> TVニュースや新聞等を通じて、日ごろから経済や社会に関する報道(情報)に目を配っておくことが望ましい。 授業運用の関係で履修者数は1クラスにつき34名までとする。☆		<b>備考</b> 毎回授業終了10分前に簡単な小テストを行い、履修者の理解度を確認する。また、4回ほどレポート課題を提示する(オンライン提出を予定)。	
<b>授業計画</b>			
週	単元	内容	予習/復習
<経済学の基礎知識>			
第1週	経済学とは何か	授業のイントロダクション	予)シラバスを熟読すること(約2時間) 復)授業概略の確認と経済学の基本的な考え方の理解(約2時間)
第2週	経済学の重要概念	分業と交換、機会費用	予)NHK 高校講座「産業革命と社会問題」で配信されている動画とテキストを見る(約2時間) 復)機会費用についてまとめる(約2時間)
第3週	経済学のゴール	所得分配 資源配分	予)我が国の所得格差について調べる(約2時間) 復)市場経済体制での所得分配と資源配分についてまとめる(約2時間)
<財・サービス>			
第4週	マクロ経済学の基礎用語	経済主体 市場メカニズム	予)日本で民営化されたものを全て調べる(約2時間) 復)学んだ事を活かして価格規制の問題点を考える(約2時間)
第5週	三面等価	三面等価 産業連関表	予)国民経済計算のサイトにどんな統計があるか調べる(約2時間) 復)現実の産業連関表を見ながら、講義で学んだことを確認する(約2時間)
第6週	GDPと物価	物価指数	予)ジンバブエのハイパーインフレについて調べる(約2時間) 復)2つの物価指数についてまとめる(約2時間)
第7週	財政政策の意義(1)	有効需要の原理	予)セイ法則について調べる(約2時間) 復)45度線分析を何も見ないで図示できるように練習する(約2時間)
第8週	財政政策の意義(2)	乗数効果	予)ニューディール政策の内容について調べる(約2時間) 復)乗数の式を何も見ないで求められるように練習する(約2時間)
<金融>			
第9週	金融市場の基礎用語	フローとストック 資産	予)金融資産にはどんな種類があるか調べる(約2時間) 復)フローとストックの違いについてまとめる(約2時間)
第10週	債券市場	割引現在価値	予)株式と社債の違いについて調べる(約2時間) 復)何も見ないで割引現在価値の計算ができるまで練習をする(約2時間)
第11週	貨幣市場	貨幣の需要と供給	予)インドのキャッシュレス化について調べる(約2時間)。 復)信用創造についてまとめる(約2時間)
第12週	金融政策の意義	ハイパワードマネー	予)広報ビデオ「くらしとつながる日本銀行」を視聴して日銀の役割について理解する(約2時間) 復)日本で行われている金融政策についてまとめる(約2時間)
<海外>			
第13週	為替レートの決定	購買力平価説 金利裁定	予)明日の為替レートを予想してみる(約2時間) 復)為替レートの決定要因についてまとめる(約2時間)
第14週	国際収支表	経常収支 資本収支	予)80年代のジャババンパッシングについて調べる(約2時間) 復)現実の国際収支表を読んで、講義で学んだことを確認する(約2時間)
第15週	総復習	今までの内容	予)今までの講義範囲を確認(約2時間) 復)参考書③の講義範囲を読む(約2時間)

<b>企業経営学</b> Business Management	(選択2単位) 2年前期	MEIP- GEN109 篠原淳*	
<b>授業テーマ・内容</b> 本講義では、事業を行う企業という組織が、継続して存在していくために持続的発展のために、どのようにして経済的価値を創出していかに関するマネジメントについて基礎的な部分を学ぶ。マネジメント(management)とは広義において組織の管理を意味し、企業の経営目標を達成するための基本的な活動である。 ここでは、企業経営を取り巻く環境と基本的な枠組みについて学び、企業が活動を安定的、継続的に進んでいくためには、どのような点に注意しながら組織を動かしていかなければならないかについて学んでいく。また、講義の中で技術経営的な視点として必要な、生産管理や品質管理といった点については、基本的な経営学に触れる中で具体的な事例などを加えていく。社会人として企業という組織で働くことになった時に役立つ知識や実践手法にも触れる。			
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> マネジメントを全体的に理解し、自分の将来の仕事が企業の中でどのような位置づけでなされているかを理解し、企業の効率的活動に各自がしっかりと貢献できるようにする。			
<b>成績評価の方法・評価基準</b> 期末試験 70% 中間試験 -% 小テスト -% レポート -% 演習課題 -% 平常点 30%	<b>テキスト</b> 『経営学概論』 篠原淳・後藤浩士著 学文社  <b>参考書</b> 『経営学検定テキスト 経営学の基本』 中央経済社 その他、適宜、案内する。		
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b> 全体的な講評を行う。			
<b>履修条件</b> 予習・復習を心掛けて理解を深めること。 授業中は、携帯マナーモードにし、使用しないこと。	<b>備考</b>		
<b>授業計画</b>			
週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業計画の概要	予)シラバスの確認、授業概要の把握(約2時間) 復)授業内容を整理してまとめる(約2時間)
第2週	企業と経営	ステークホルダー、経営機能の分化等	予)第1週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第3週	企業・会社の概念と諸形態	有限会社、株式会社、合名会社等	予)第2週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第4週	所有・経営・支配と経営目的	株式の分散、専門経営者、利潤の極大化	予)第3週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第5週	会社機関とコーポレート・ガバナンス	株主総会、取締役会、監査役会等	予)第4週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第6週	日本型企業システム	稟議的経営、ボトムアップ、企業集団等	予)第5週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第7週	経営戦略の体系と理論	戦略と戦術、市場ミックス、多角化等	予)第6週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第8週	経営戦略の策定と経営環境	製品ライフサイクル、PDCA等	予)第7週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第9週	組織に関する基礎理論	時間研究、課業管理、協働体系等	予)第8週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第10週	経営組織の基本形態	ライン組織、ファンクショナル組織等	予)第9週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第11週	経営管理の基礎理論	マネジメントサイクル、自己実現欲求等	予)第10週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第12週	経営機能と管理機能、リーダーシップ、マネジメント・プロセス	経営機能、管理機能、マネジメントサイクル	予)第11週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第13週	経営計画	経営計画の周期性、階層性、基本計画と執行計画等	予)第12週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第14週	企業経営と情報化	企業経営における情報化の進展等	予)第13週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第15週	企業統治	CSR調達、コンプライアンス、企業倫理等	予)第14週の内容の資料等を熟読(約2時間) 復)PERTについてまとめる(約2時間)
第16週	期末試験		

くらしと法律 Law for Citizen		(選択2単位) 2年後期	MEIP- GEN110 安井聖美*
<b>授業テーマ・内容</b> 我々の生活は様々な法律で囲まれている。場面場面により関係してくる法律には違いがでてくる。 法律を大きく大別すると、市民としての生活に関する法律と、国民としての生活に関する法律とに分れる。前者を私法の領域、後者は国と国民の関係を定めた公法の領域である。 私たちの日常のくらしにおいては、私法に関する法律が関係してくることが多い。私法の基本法は民法であり、民法を網羅的に学習することで、市民生活において法的な知識や経験がいかに大切かを学んでいく。法律行為の代表である契約については、契約の主体や契約の対象(客体)について論理的に学習し、家族法についても掘り下げ、高齢者社会やダイバーシティ社会に法律がどのように関与しているかも説明していく。 企業経営における法律の関与も様々な角度から説明を行い、実務に役立つ法律知識を身につけることができるように学習する。 また、時事問題は法律的な問題を含んでいることが多く、状況に応じ、新聞等に掲載された時事問題を取り上げ検討していく。 日常生活における法律関係を自然と意識できるレベルになってもらいたい。			
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> 受講生が日常生活には網の目のように法律関係がある事を理解し、民法についての最低限の網羅的な知識を習得し、法的思考を身につける。 具体的な到達目標 <到達目標1> 法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できるようになる。 <到達目標2> 民法における重要な知識・考え方を理解し必要な知識を身につける。 <到達目標3> タイムリーな話題について新聞を利用して解説し、法理が身近な部分に関与していることを知る。 <到達目標4> 具体的な事象に対し、法的思考に基づいて、自分なりの結論を導く。			
<b>成績評価の方法・評価基準</b> 期末試験 10% 中間試験 10% 小テスト 30% レポート 10% 演習課題 30% 平常点 30%		<b>テキスト</b> 「民法演習サブノート210問」 沖野真己 + 窪田充見 + 佐久間毅 編著 弘文堂 <b>参考書</b> 「リーガルベイス 民法入門」道垣内弘人著 日本経済新聞出版社	
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b> 授業内に行う課題については、講義内でポイントを解説および講評を行う。			
<b>履修条件</b> 講義に出席するだけでなく、講義の内容(演習問題)に対し、講師の質問にも積極的に答えられる態度でいること		<b>備考</b> 実務教員として、長年の法務・会計・税務上の経験に基づき、現代のビジネス実務を講義に毎回反映し、ビジネスについて実際に有用となる教養を伝授する。	
<b>授業計画</b>			
週	単元	内容	予習/復習(毎回各2時間 計4時間ずつ)
第1週	オリエンテーション/ 法の基本概念	我々を取り巻く法律についてどのような意味があるか理解する。	予) シラバスを読む。 復) 法の強制力と機能について、講義で習ったことをまとめる
第2週	民法総則①	民法の基本原則は何か、権利能力と法人の意義について確認する。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 復) 民法の基本原則と権利能力と法人の関係に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第3週	民法総則②	法律行為と法律効果の関係について確認する。意思表示の重要性とその欠缺のケースを学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 復) 法律行為とは何か。その行為の中心となる意思表示の重要性について講義で習ったことをまとめる。
第4週	民法総則③	代理の基本原則と諸問題(無権代理・表見代理)について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 復) 身近の様々な代理のケースを見つけ、講義内容と関連させる。
第5週	物権①	物権とは何か。物権変動の公示と對抗要件について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 物権に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第6週	物権②	担保物権(意義、範囲、質権、低抵当権)について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 各種の担保物権についてまとめておくこと
第7週	債権総論①	債権・債務の基本的な内容と付随義務について確認し、履行されない場合の責任について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 債権債務の本質・付随義務と損害賠償責任について講義で習ったことをまとめる。
第8週	債権総論②	債務が履行されないケースと履行の強制のための法的手段(保証)について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 債務不履行責任と保証についてまとめておくこと
第9週	契約①	契約に関する基本事項(成立要件)、同時履行の抗弁権について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 復) 売買契約に関する基本事項(成立要件)、同時履行の抗弁権について講義で習ったことをまとめる。
第10週	契約②	財産の譲渡と利用(贈与・貸借)と債務提供(請負)に関する契約について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 復) 売買・贈与契約と賃貸借契約、委任・請負契約に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第11週	不法行為①	不法行為の内容と不法行為責任、事務管理と不当利得について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 不法行為責任と事務管理、不当利得についてまとめておくこと
第12週	不法行為②	不法行為による損害賠償責任の意義と範囲をまとめる。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 損害賠償に関する基本事項について講義で習ったことをまとめる。
第13週	家族法①(親族)	身分法としての婚姻の性格を理解する。親子関係と扶養制度を学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 婚姻関係と親子関係に関する基本事項について習ったことをまとめる。
第14週	家族法②(相続)	法定相続の必要性、遺言と遺産分割について学ぶ。	予) 講義用レジュメを読んでおくこと 身近な法律に関する記事検索 復) 相続法に関する内容をまとめておくこと
第15週	まとめ/課題	講義で行った重要事項の理解を確認する小テストを行い、今後、講義で習った民法の基本事項をどのように利用するかをまとめる。	予) 講義で学んだ基本事項を理解し、法的思考を整理しておく。 復) 講義で習った民法に関する基本事項を復習しておくこと。

<b>地球環境論</b> Natural Environmental Science		(選択2単位) 2年前期	村田安繁*	MEIP- GEN111
<b>授業テーマ・内容</b> 人類は、地球環境に支えられて生存している。しかし、人間活動は環境に影響を与え、時として、人類の生存を脅かすように環境を悪化させた歴史や、また、それを回復させた歴史がある。このような歴史を通して得た知識や技術は、現在及び未来の人類が健康で文化的な生活を営むのに不可欠な人類の英知である。 この英知を受け継ぎ、環境・社会・経済のバランスの取れた産業技術により持続可能な発展を目指す為の基礎を学ぶことが本講座のテーマである。				
<b>到達目標・ねらい・卒業認定に関する方針との関連</b> ・環境やそれにかかわる諸問題に気づき、関心を持つとともに、現在の問題の解決と、新しい問題の未然防止に向けて、個人的、集团的に活動する上で必要な知識、技能、態度、意欲、実行力を身につけることをねらいとする(1975年 ベオグラード憲章より引用)。 ・上記のねらいに対し、技術者として自分の行うべきことの認識を持つことを目標とする。				
<b>成績評価の方法・評価基準</b>		<b>テキスト</b>		
期末試験	40%	新訂 地球環境の教科書 10講		
中間試験	—%	東京書籍刊 九里・左巻・平山 編著		
小テスト	—%	<b>参考書</b>		
レポート	30%	改訂新版 地球環境がわかる		
演習課題	15%	技術評論社 西岡・宮崎・村野		
平常点	15%			
<b>課題(試験やレポート等)に対するフィードバック</b> レポート及び意見メモに対してフィードバックします。				
<b>履修条件</b> 環境に関するレポート1題の提出を求める(独自性、内容、ボリューム、完成度にて評価)。 一部において、授業内容について意見メモの提出や WEB を視聴して内容を報告する小レポートの提出を演習課題とする。		<b>備考</b> 担当教員に製造業(電気機械)の実務経験あり		
<b>授業計画</b>				
週	単元	内容	予習/復習	
第1週	ガイダンス 環境教育の目指すもの	地球環境論を学ぶ意義	予)「地球環境」を検索して調べる	1時間
			復)環境教育の目的と意義の理解	1時間
第2週	地球環境問題、何がどう問題?	直面する問題と未来の懸念	予)配付資料を読み考える	1時間
			復)問題の種類、内容、原因の理解	1時間
第3週	公害と環境汚染1	公害の歴史	予)配付資料を読み考える	2時間
			復)主要な公害についての理解	2時間
第4週	公害と環境汚染2	公害と環境汚染の今 公害防止技術	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)主要な問題と対策法の理解	2時間
第5週	地球温暖化の科学と政治1	地球温暖化の問題	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)温暖化の原因と影響の理解	2時間
第6週	地球温暖化の科学と政治2	地球温暖化への取り組み	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)温暖化対策の歴史と内容の理解	2時間
第7週	酸性化する大気と海洋	酸性雨、PM2.5、海洋酸性化	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)酸性化の原因と影響の理解	2時間
第8週	石油は40年でなくなるのか?1	化石燃料と脱化石燃料1	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)化石燃料と原子力技術の理解	2時間
第9週	石油は40年でなくなるのか?2	脱化石燃料2	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)原子力・太陽エネルギーの理解	2時間
第10週	オゾン層破壊をもたらすこと	オゾン層破壊と対策	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)破壊の原因、影響、対策の理解	2時間
第11週	生態系の危機	生態系の破壊と保護、生物多様性	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)生態系、生物多様性の理解	2時間
第12週	あふれるごみ	ごみ問題とリサイクル	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)内外のごみ問題と対策の理解	2時間
第13週	水の危機の時代	水問題と対策	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)水問題の原因と取組の理解	2時間
第14週	企業と環境経営	企業の社会的責任、ISO14001、ESGとSDGs	予)教科書の該当部を読み考える	2時間
			復)環境経営とメリットの理解	2時間
第15週	まとめ	1~14週の内容確認と補足、 資料・ノート確認、アンケート	予)教科書確認、資料・ノート整理	2時間
			復)講義全般の見直し、試験準備	6時間
第16週	期末試験	1~15週の内容の理解度をみる	予)試験準備	0時間
			復)間違いを調べて修正(提出)	2時間